

3. 河川の整備の実施に関する事項

3.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施工により設置される河川管理施設の機能の概要

3.1.1 河川工事の施工の場所

河川工事の施工場所は次に示すとおりです。

○ 河川改修

対象河川及び河川改修区間は表 3.1.1、図 3.1.1 に示すとおりです。

また、局所的に流下能力が不足している箇所については、必要に応じて部分的な改修を行い、浸水被害の軽減を図ります。

表 3.1.1 対象河川及び河川改修区間

河川名	位置	区間延長
沼田川下流	〔高潮〕：0.1km 区間 〔河川〕：定屋大橋から山陽道自動車道高架上流 3.1km までの区間	0.1km 14.9 km
沼田川中流	山陽本線橋梁から寺沖橋までの 1.2km 区間	1.2 km
天井川	沼田川合流点上流 1.0km から上流 5.8km 区間	4.8 km
仏通寺川	沼田川合流点から上流 4.8km 区間	4.8 km
梨和川下流	沼田川合流点から上流 2.0km 区間	2.0 km
梨和川中流	尾原川合流点から上流 0.7km 区間	0.7 km
尾原川	梨和川合流点から上流 0.8km 区間	0.8 km
菅川	沼田川合流点から上流 1.0km 区間	1.0 km
入野川下流	沼田川合流点上流 0.5km から上流 0.8km 区間	0.8 km
入野川中流	入野大橋から大谷川合流点までの 1.9km 区間	1.9 km
入野川上流 (宮領川)	杵原川合流点下流から宮領川分派点上流 0.4km までの 1.4km 区間	1.4 km
杵原川	入野川合流点から県管理区間上流端の 2.5km 区間	2.5 km

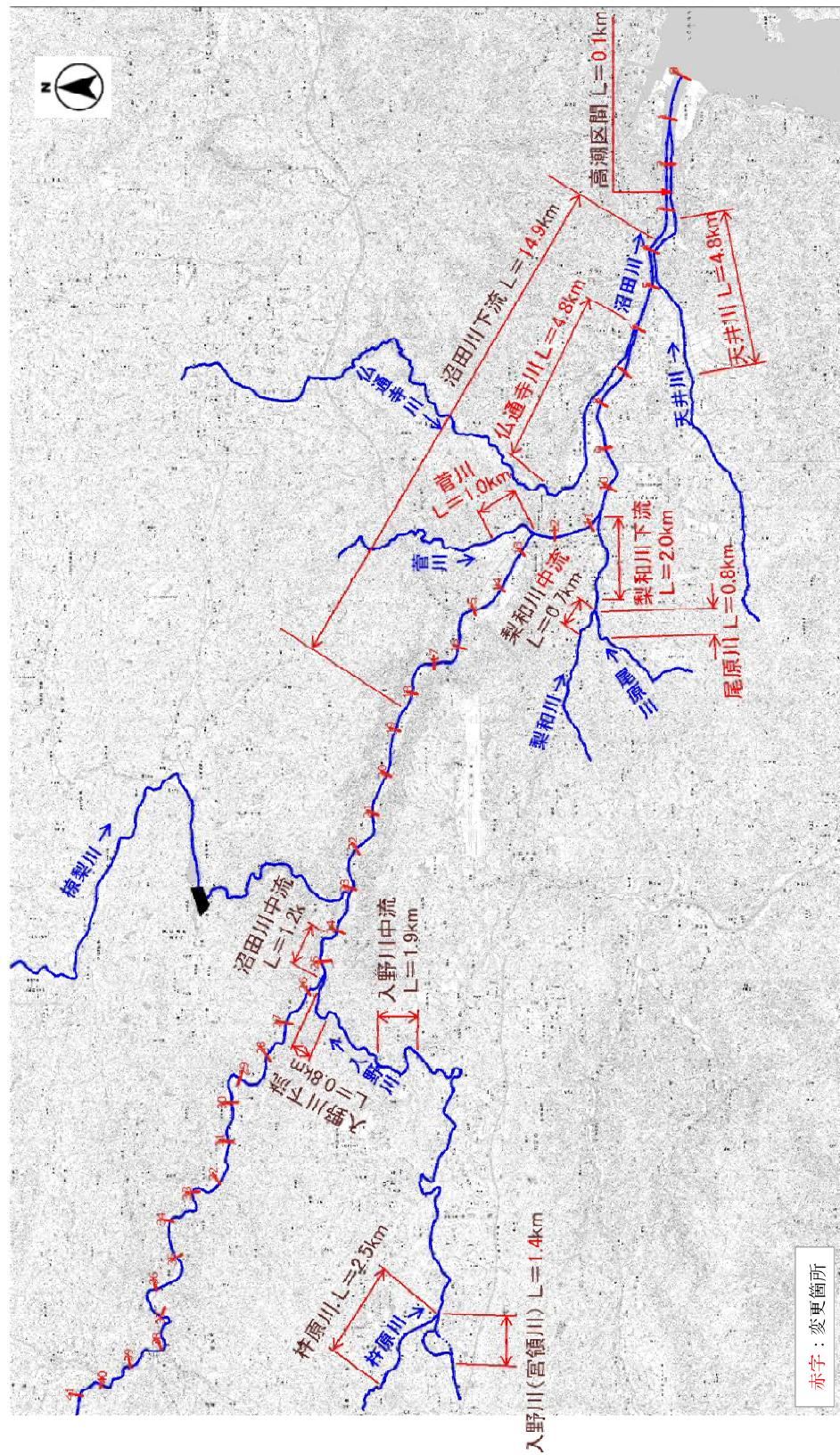


図 3.1.1 施行場所位置図

注：背景は電子地形地図 25000（国土地理院）により作成

3.1.2 河川工事の目的、種類及び河川管理施設の機能の概要

(1) 河川改修

① 沼田川下流および支川

河川改修は、上流洪水調節施設による洪水調節後の平成 11 年 6 月 29 日及び平成 30 年 7 月豪雨洪水相当の流量を安全に流下させること、異常な高潮から防衛することを目的に実施します。

沼田川本川の河川改修については、七宝基準点において目標の計画高水流量 $1,400\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう、沿川の市街化状況と天井川の様相を呈する河道状況を勘案し、大幅な引堤や築堤を避け、主に河床掘削（一部引堤）により河道断面積を確保します。

支川天井川、仏通寺川、梨和川、菅川等の河川改修については、目標流量が安全に流下できるよう、主に築堤、河床掘削により河道断面積を確保します。

また、平成 30 年 7 月豪雨洪水において破堤及び浸透漏水等による被災を受けた区間、または今後被災を受ける恐れのある区間については、必要に応じ堤防の強化対策を実施します。

なお、河川改修を行う際には、濬筋や瀬、淵の復元を図るなど、河道及び周辺自然環境に配慮した整備に努めます。

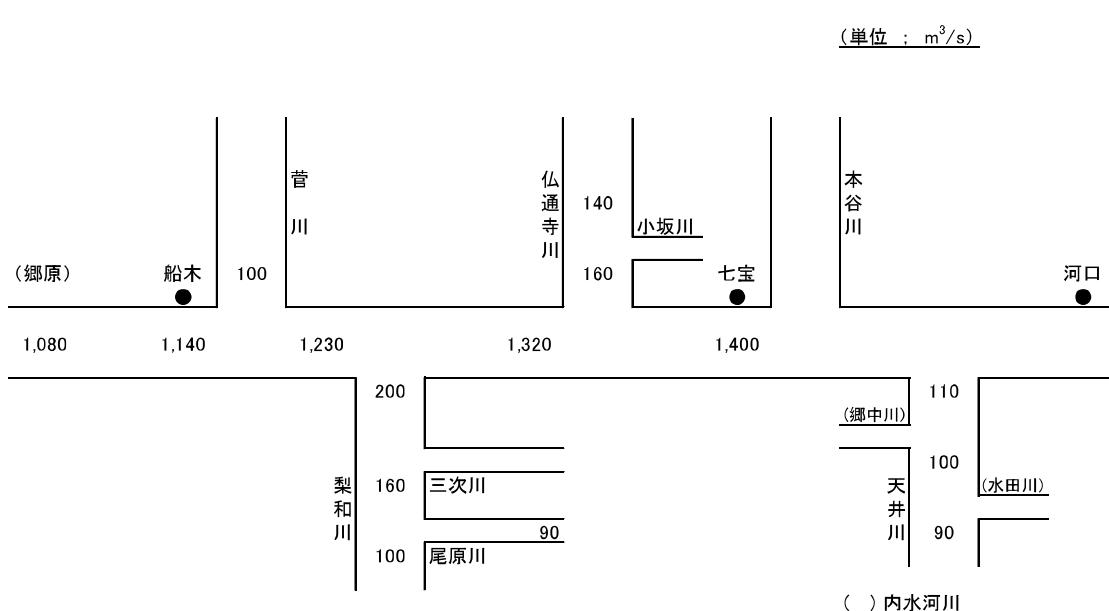


図 3.1.2 沼田川下流および支川流量配分図

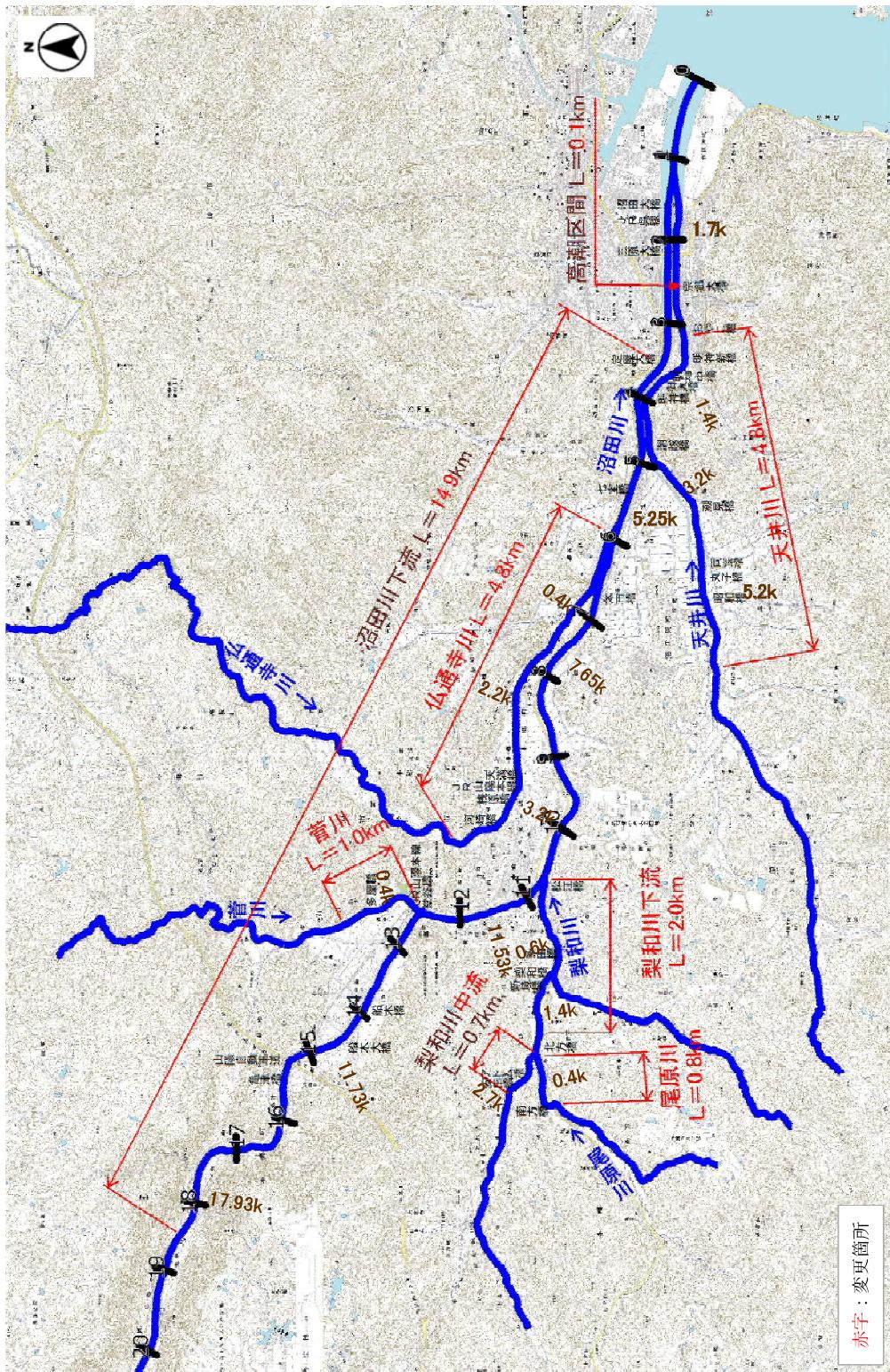


図 3.1.3 沼田川下流および支川平面図

注：背景は電子地形地図 25000（国土地理院）により作成

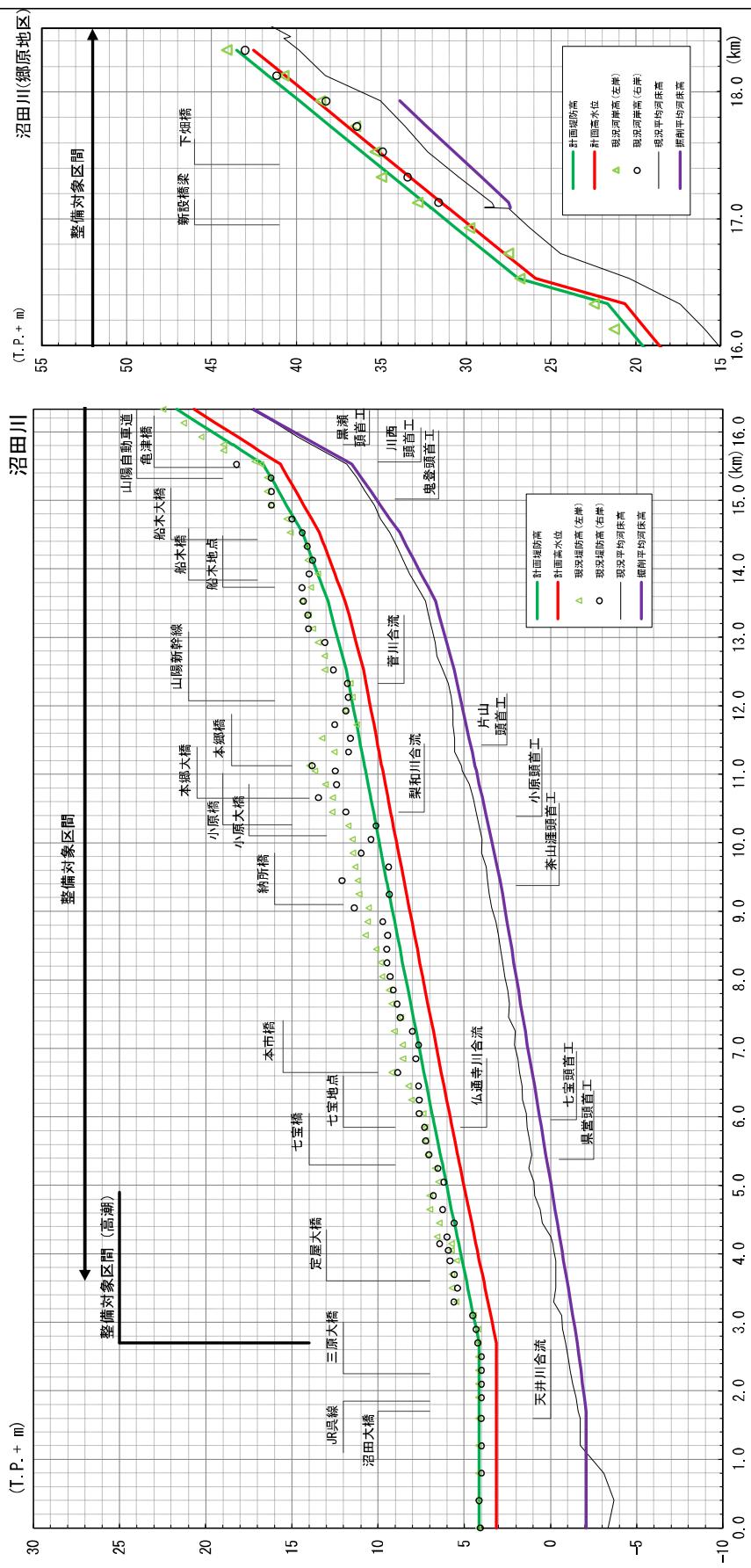


図 3.1.4 沼田川下流縦断図

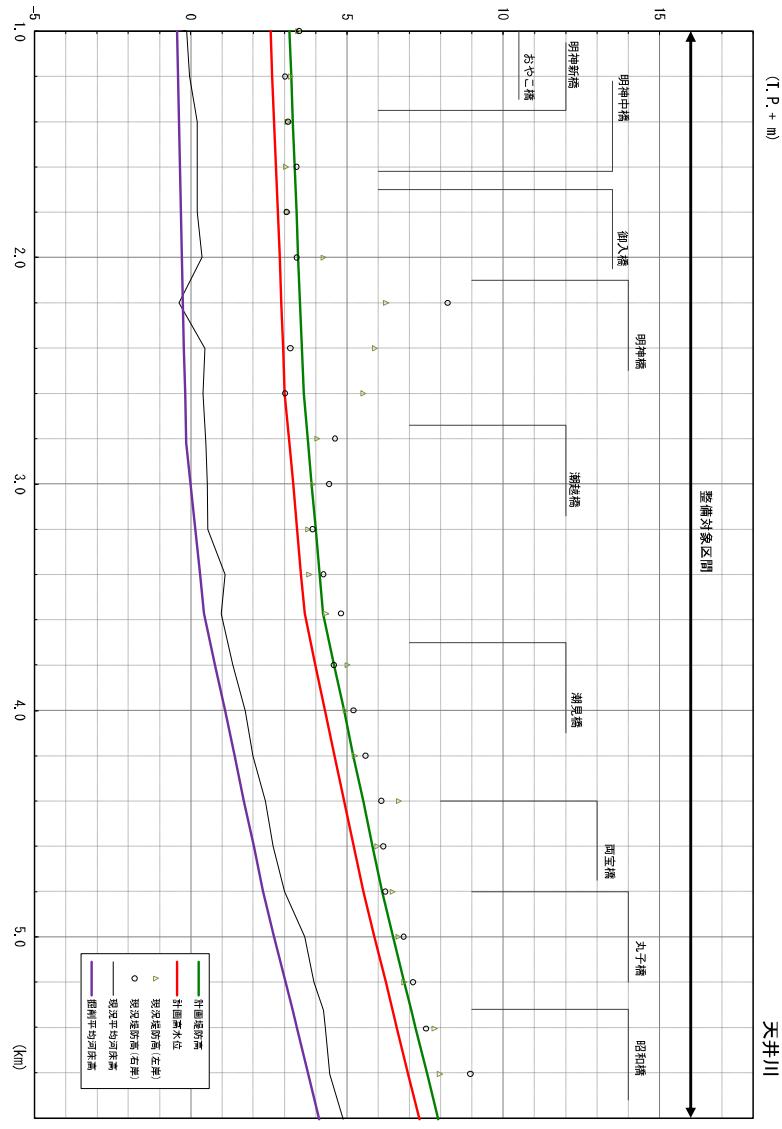


図 3.1.5 天井川縦断図

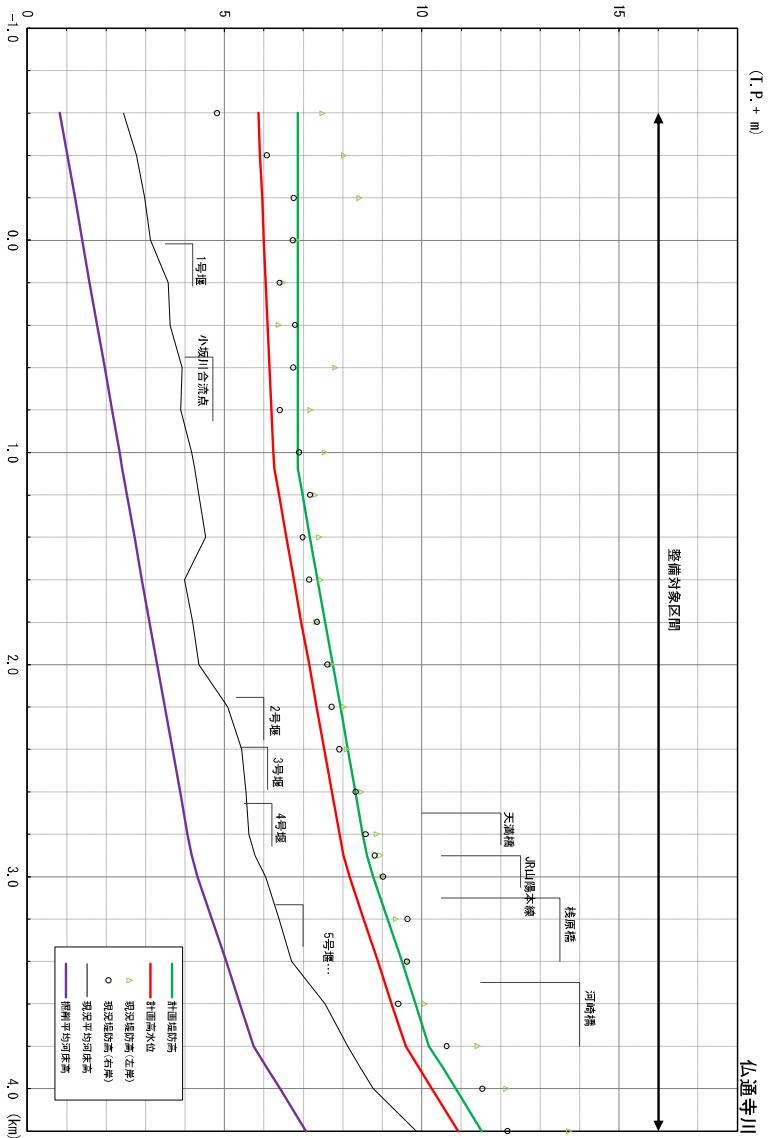


図 3.1.6 仏通寺川縦断図

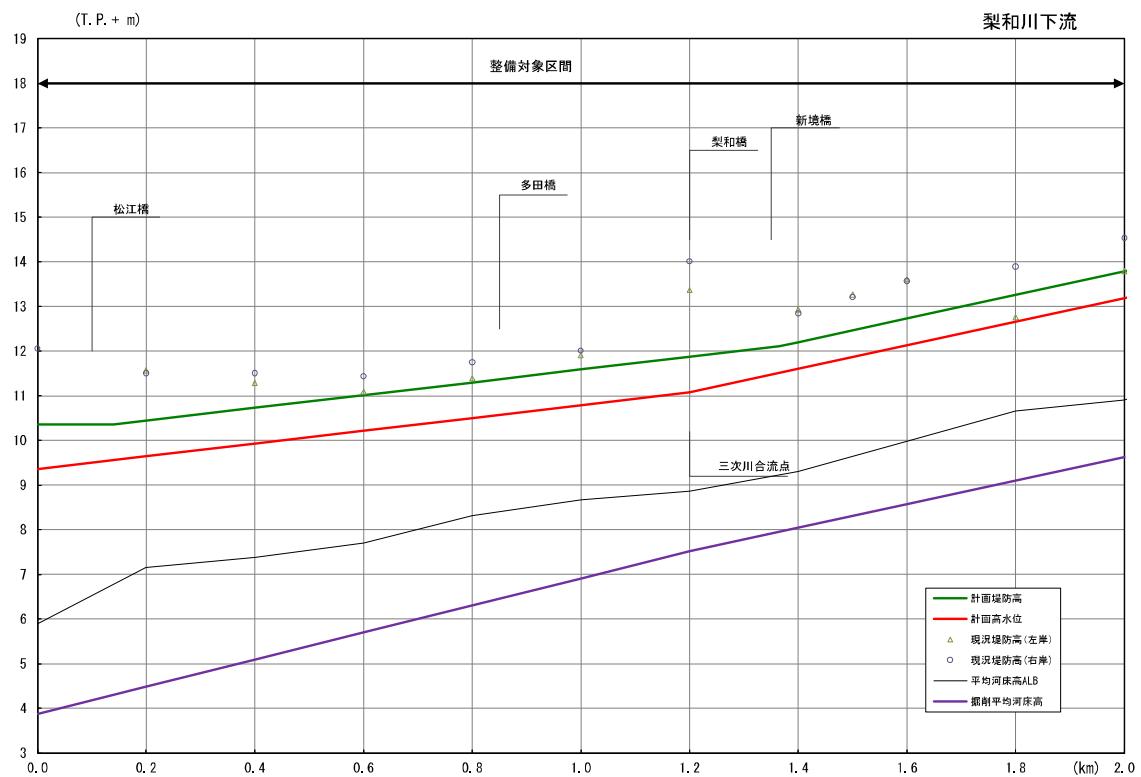


図 3.1.7 梨和川下流縦断図

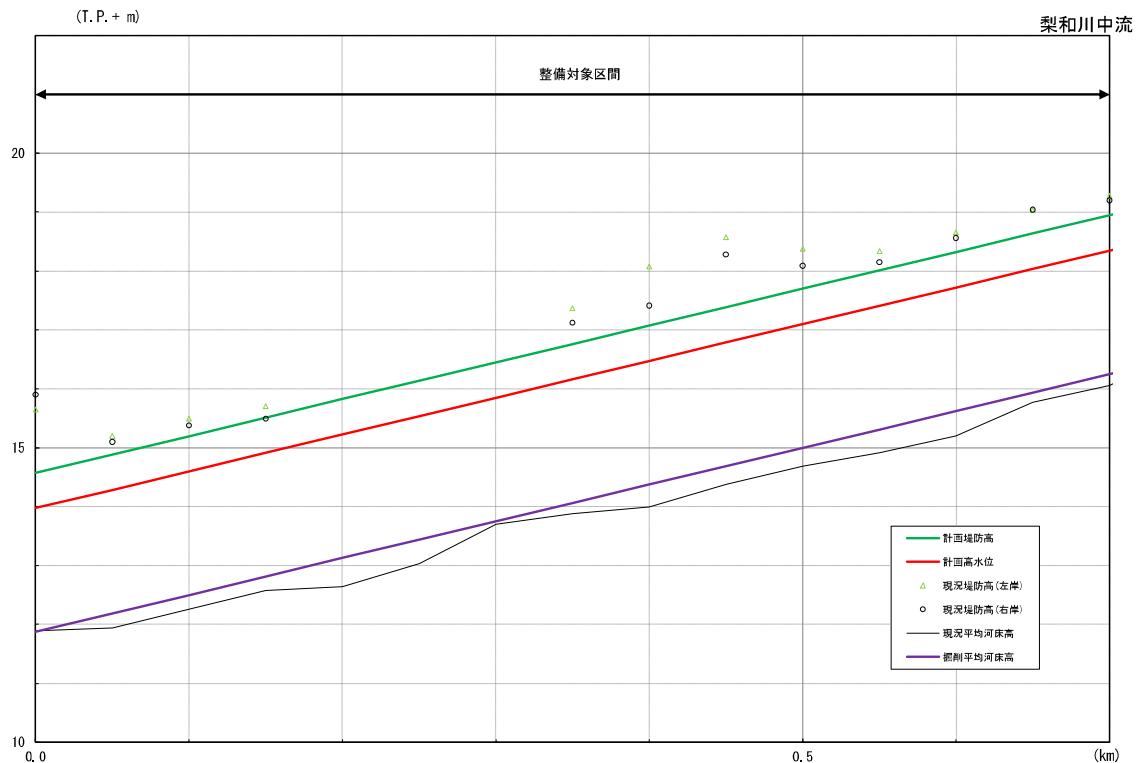


図 3.1.8 梨和川中流縦断図

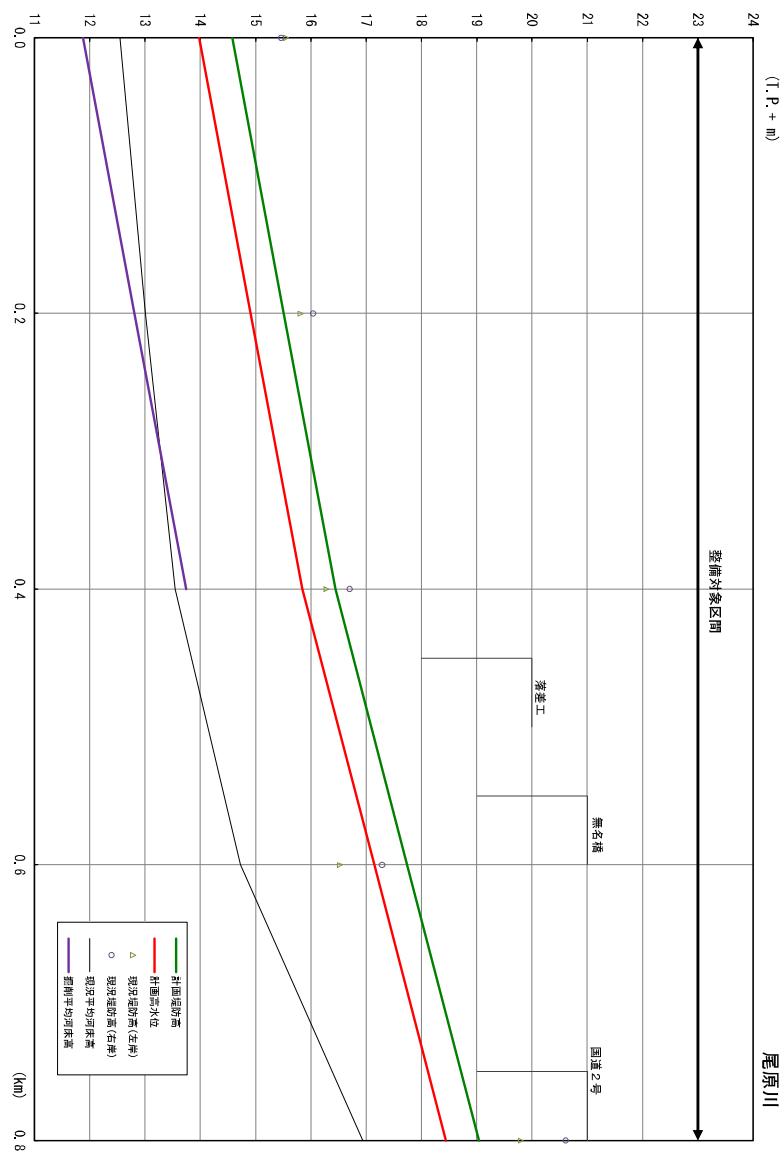


図 3.1.9 尾原川縦断図

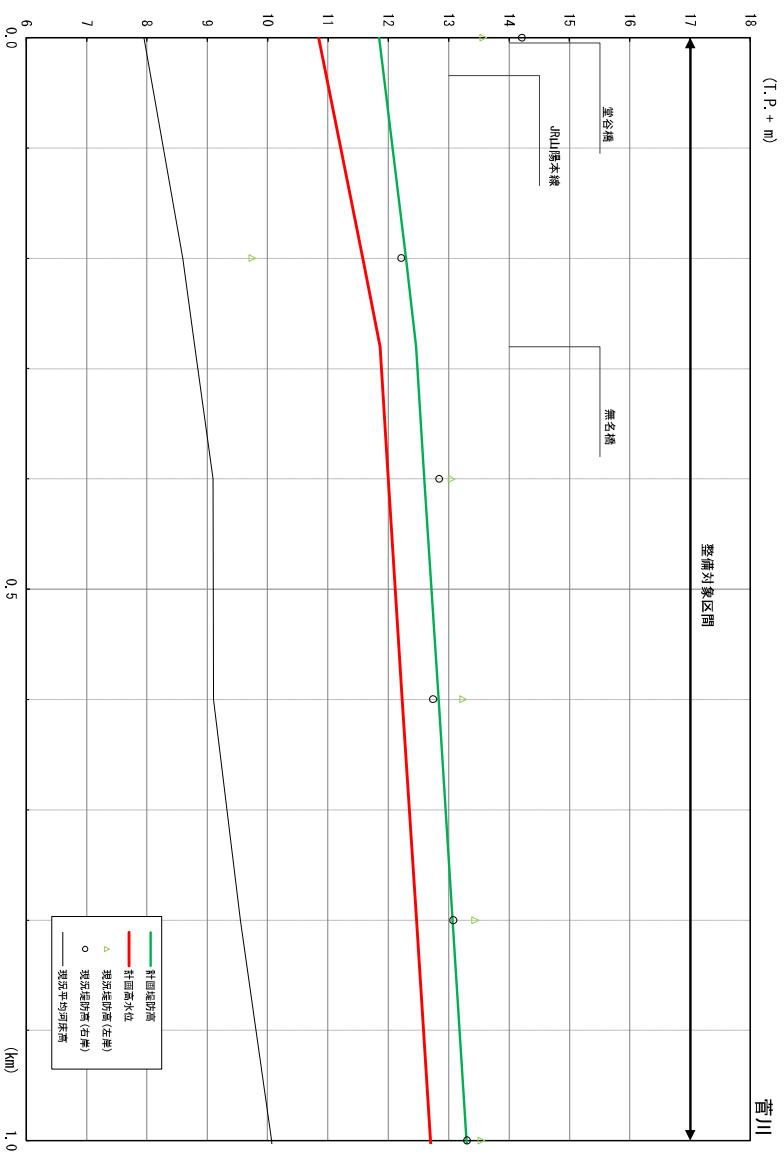
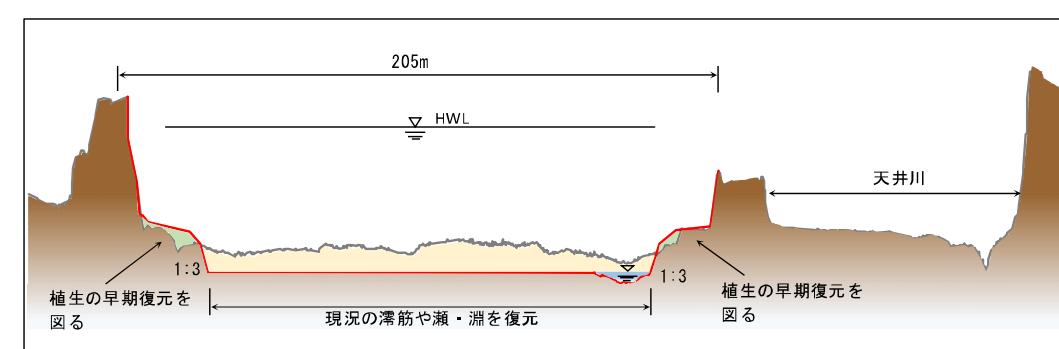
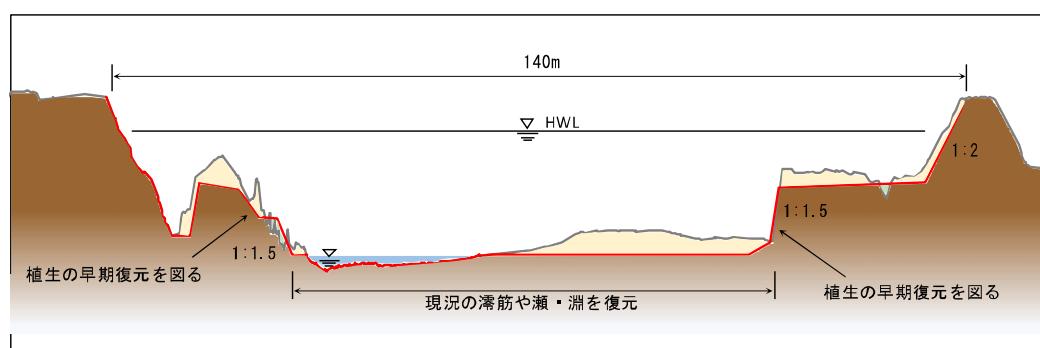


図 3.1.10 菅川縦断図

沼田川下流 1.7k



沼田川下流 5.25k



沼田川下流 7.65k

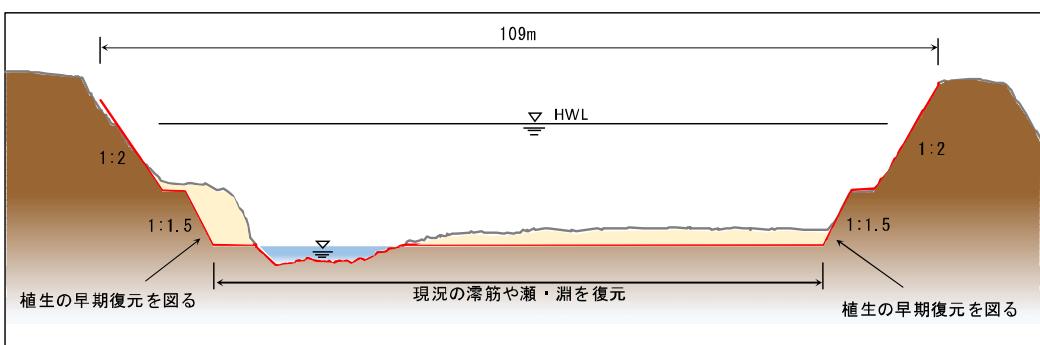
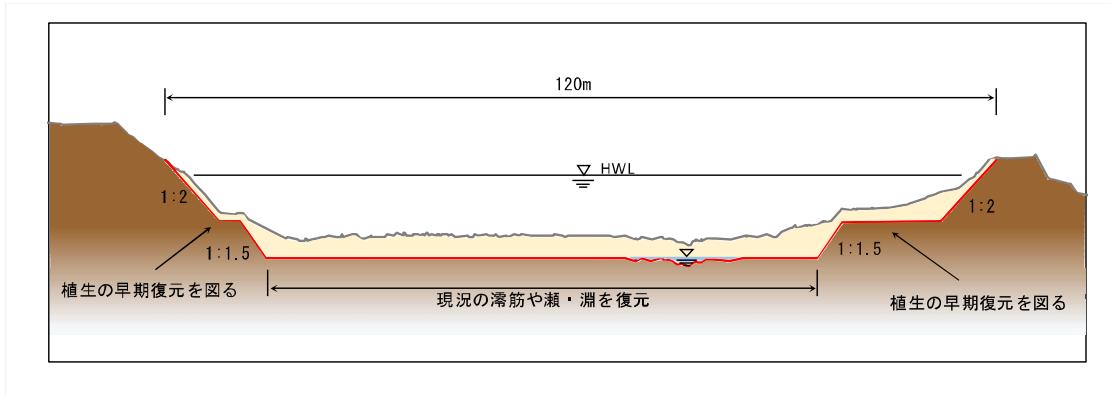


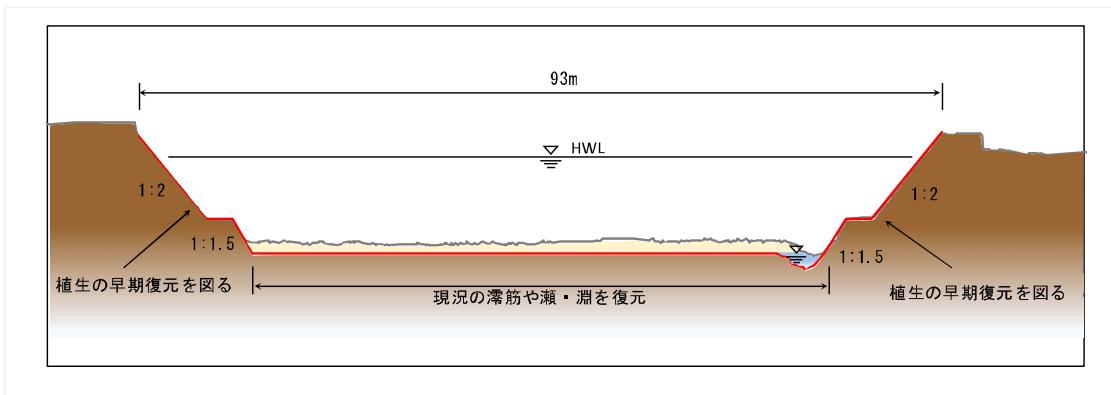
図 3.1.11 沼田川下流横断図(1/2)

凡 例	
■	: 堀削
■	: 盛土
—	: 現況の川の形
—	: 整備を行う形

沼田川下流 11.53k



沼田川下流 14.73k



沼田川下流 17.73k

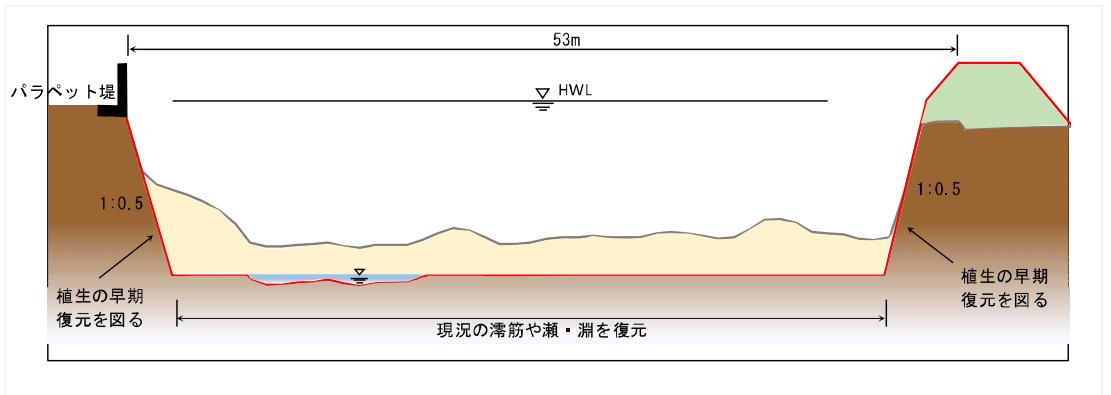
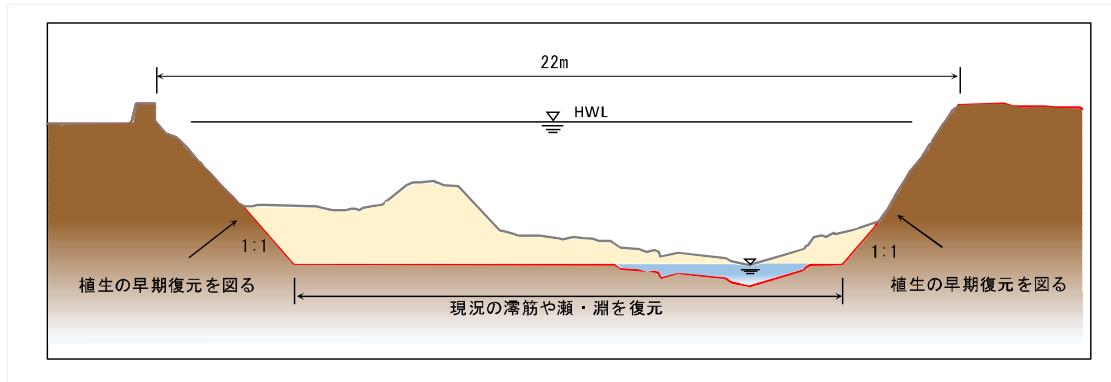


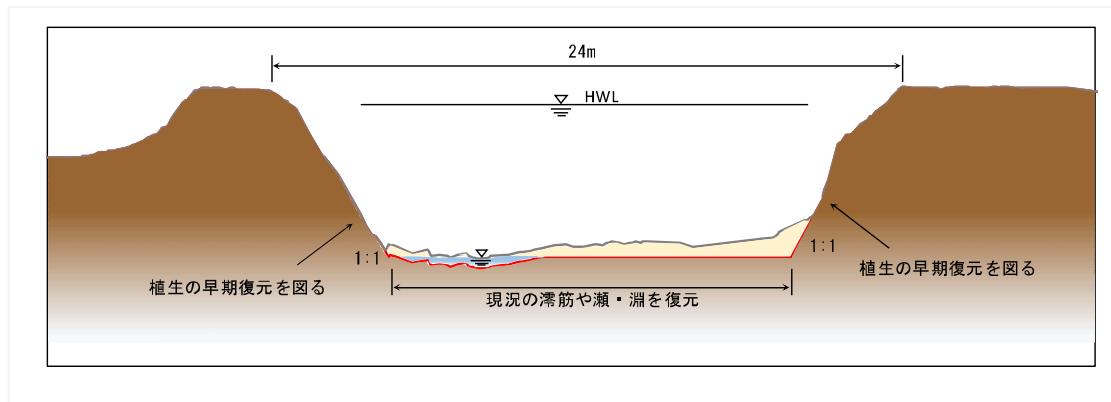
図 3.1.11 沼田川下流横断図(2/2)

凡 例	
■	: 堀削
■	: 盛土
—	: 現況の川の形
—	: 整備を行う形

天井川 1.4k



天井川 3.2k



天井川 5.2k

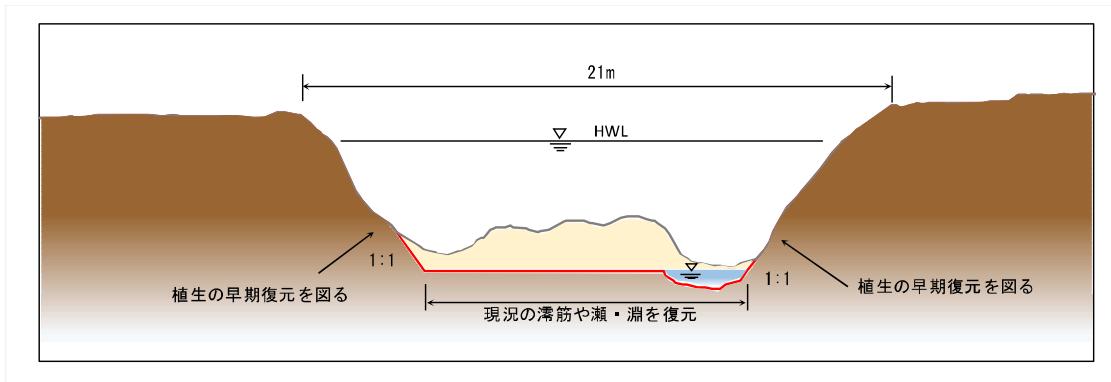
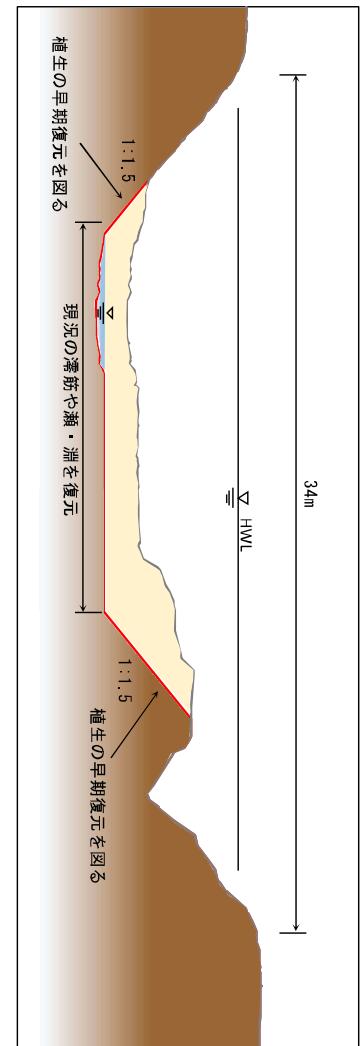


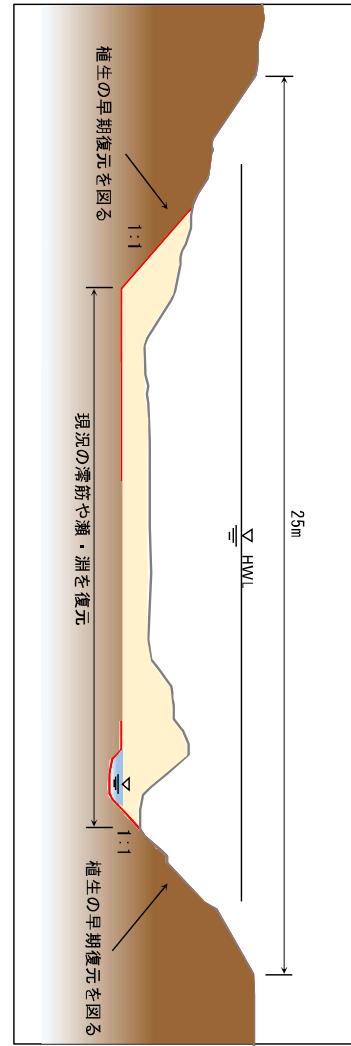
図 3.1.12 天井川横断図

凡 例	
■	: 堀削
■	: 盛土
—	: 現況の川の形
—	: 整備を行う形

仏通寺川 0.4k



仏通寺川 2.2k



仏通寺川 3.2k

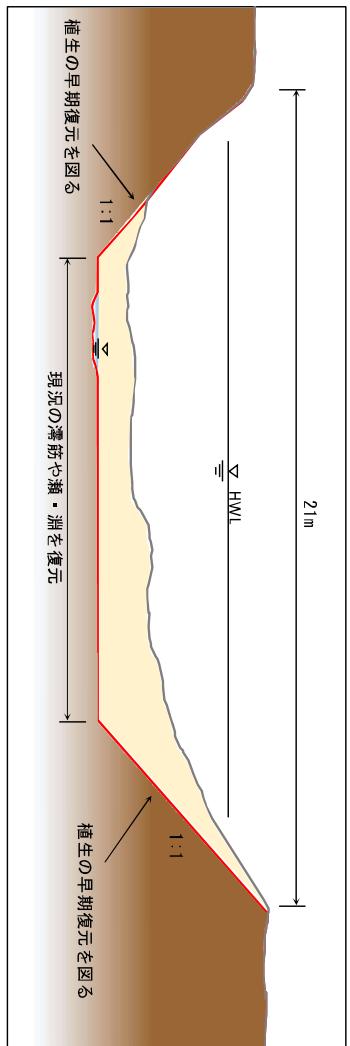
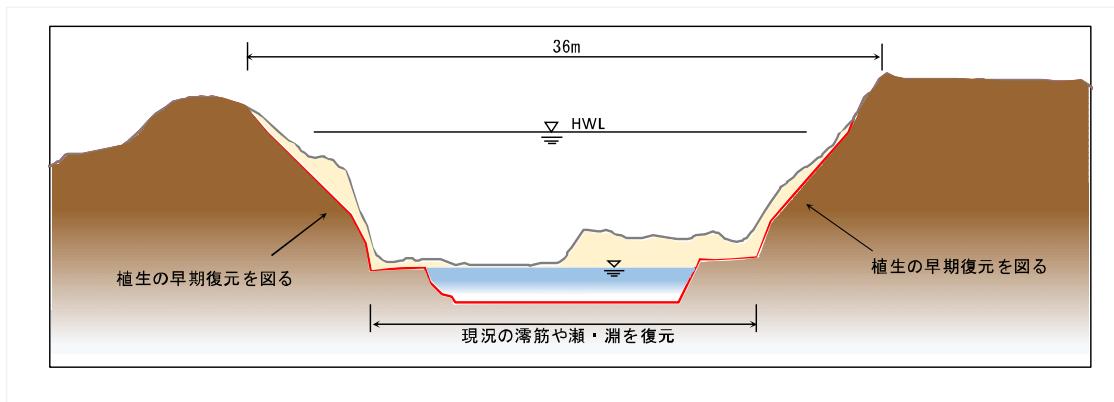


図 3.1.13 仏通寺川横断図

凡 例
■ : 挖削
■ : 盛土
— : 現況の川の形
— : 整備を行う形

梨和川下流 0.6k



梨和川下流 1.4k

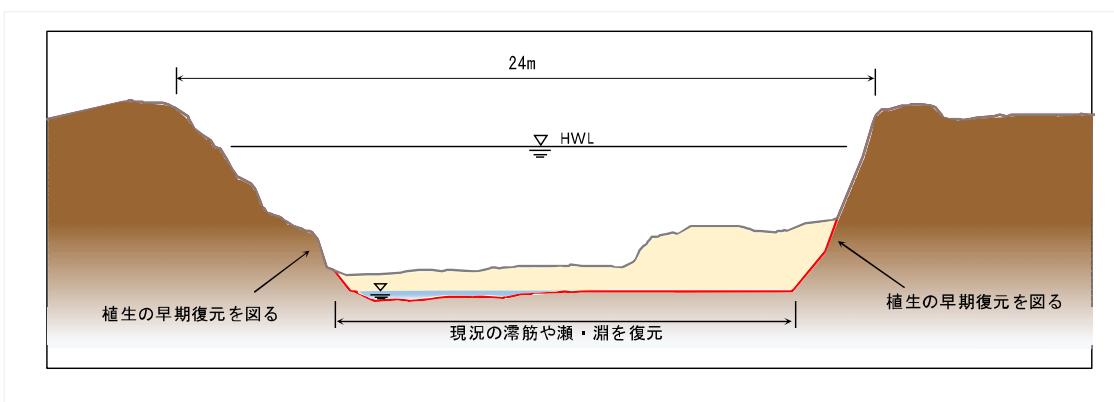


図 3.1.14 梨和川下流横断図

梨和川中流 2.7k

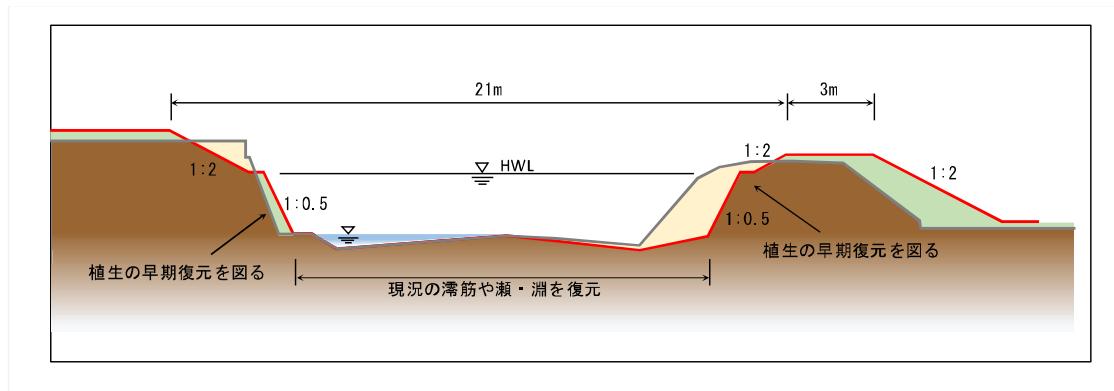


図 3.1.15 梨和川中流横断図

凡 例	
■	: 堀削
■	: 盛土
—	: 現況の川の形
—	: 整備を行う形

尾原川 0.4k

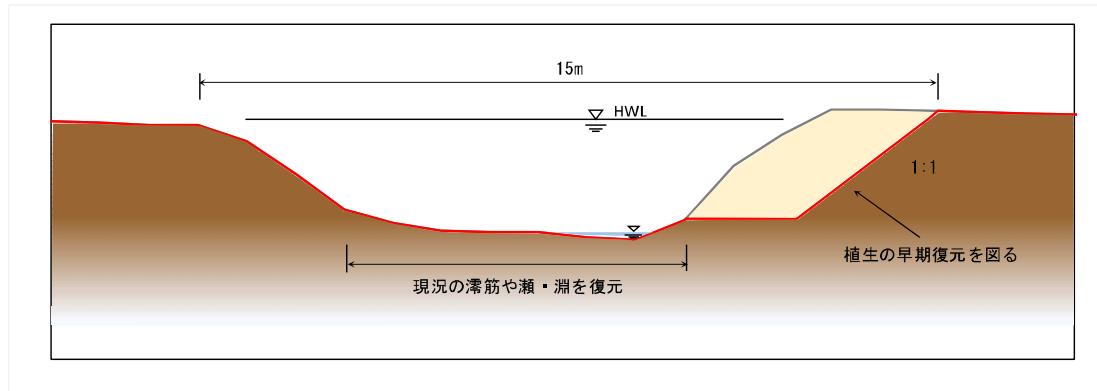


図 3.1.16 尾原川横断図

菅川 0.4k

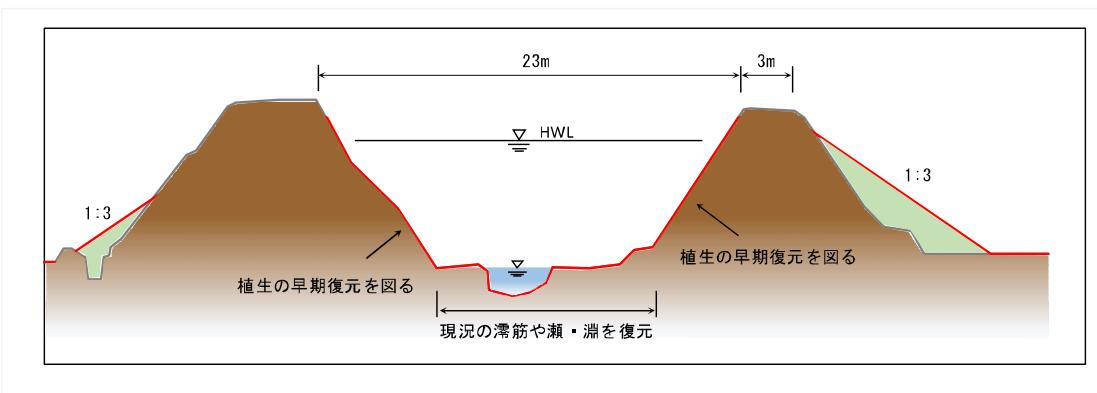


図 3.1.17 菅川横断図

凡 例	
■	: 堀削
■	: 盛土
—	: 現況の川の形
—	: 整備を行う形

② 沼田川中流

沼田川中流の河川改修は、平成11年6月29日洪水及び平成30年7月豪雨洪水相当の流量を安全に流下させることを目的に実施します。

河川改修については、最下流部の目標の計画高水流量 $730\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

(单位 ; m^3/s)



図 3.1.18 沼田川中流流量配分図

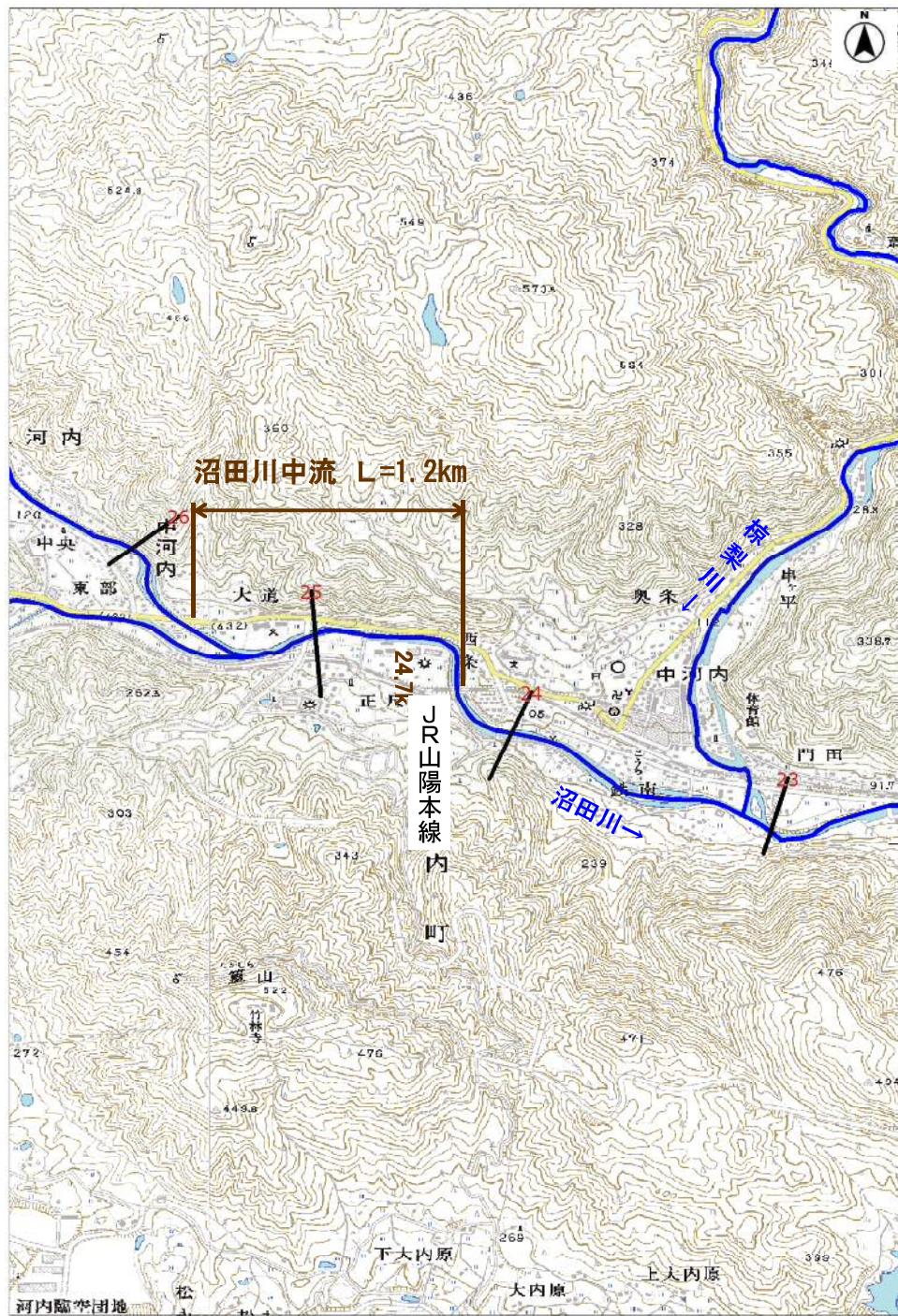


図 3.1.19 沼田川中流平面図

注：背景は電子地形地図 25000（国土地理院）により作成

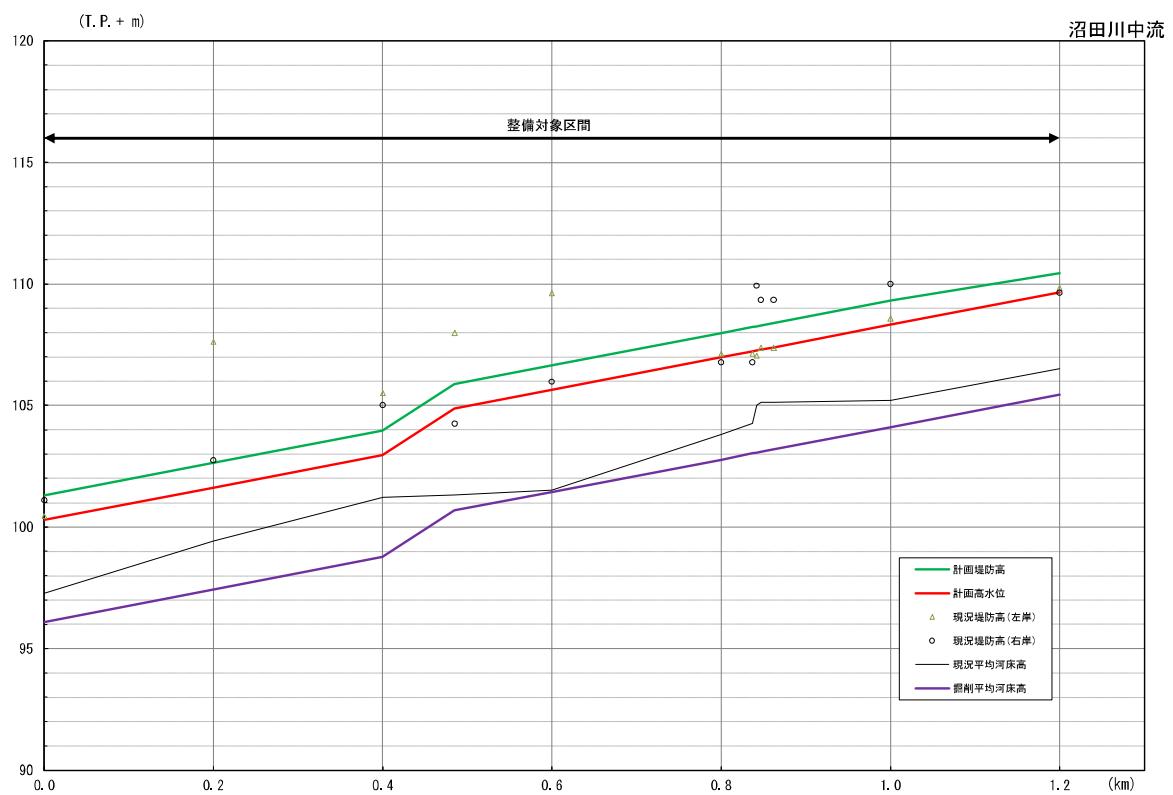


図 3.1.20 沼田川中流縦断図

沼田川中流 24.7k

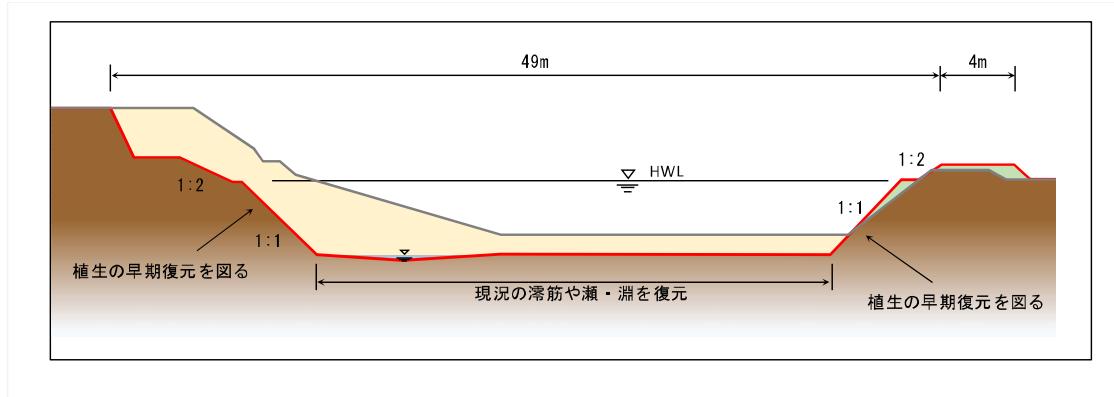


図 3.1.21 沼田川中流横断図

凡 例	
■	: 掘削
■	: 盛土
—	: 現況の川の形
—	: 整備を行う形

③ 入野川中下流

入野川の中下流の河川改修は、平成 11 年 6 月 29 日洪水及び平成 30 年 7 月豪雨洪水相当の流量を安全に流下させることを目的に実施します。

河川改修については、最下流部の目標の計画高水流量 $320\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

(単位 : m^3/s)

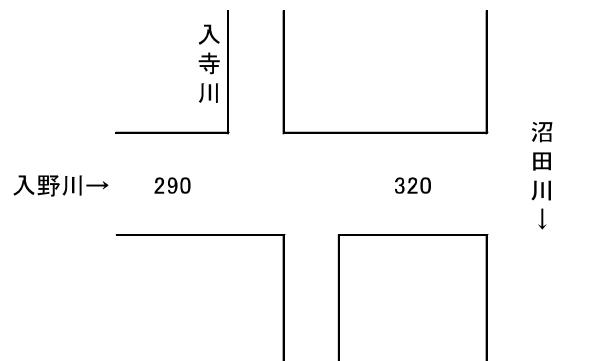


図 3.1.22 入野川中下流流量配分図



図 3.1.23 入野川中下流平面図

注：背景は電子地形地図 25000（国土地理院）により作成

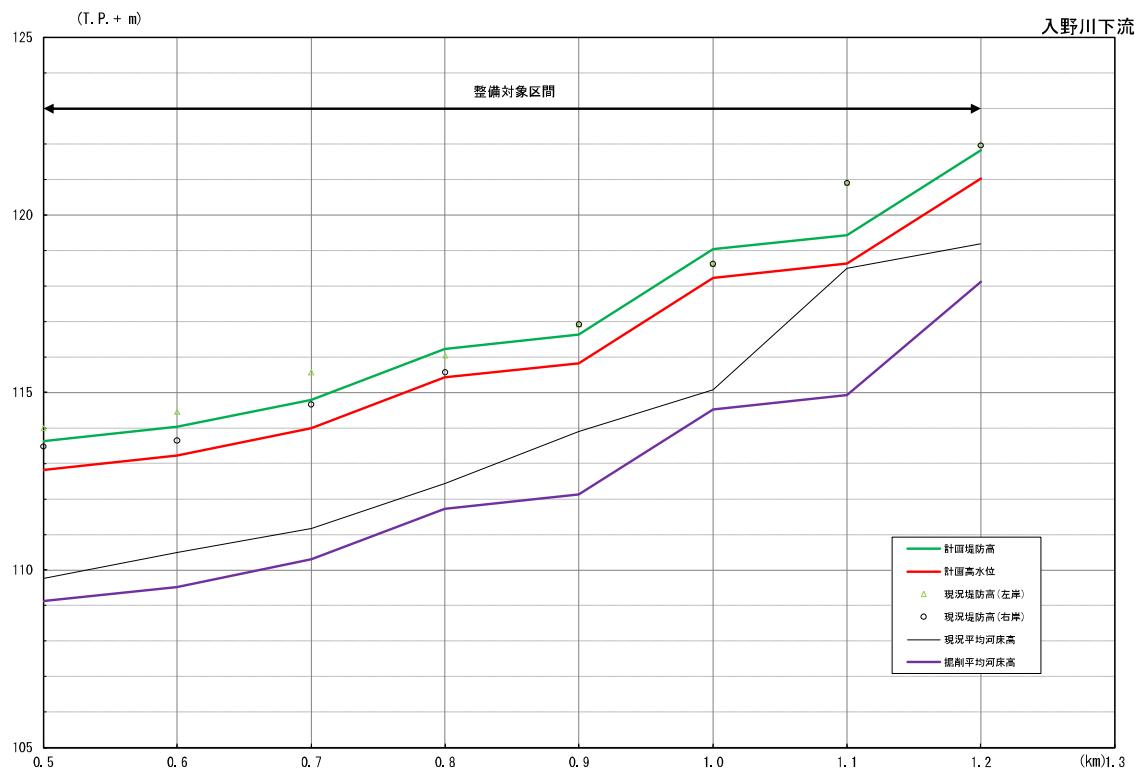


図 3.1.24 入野川下流縦断図

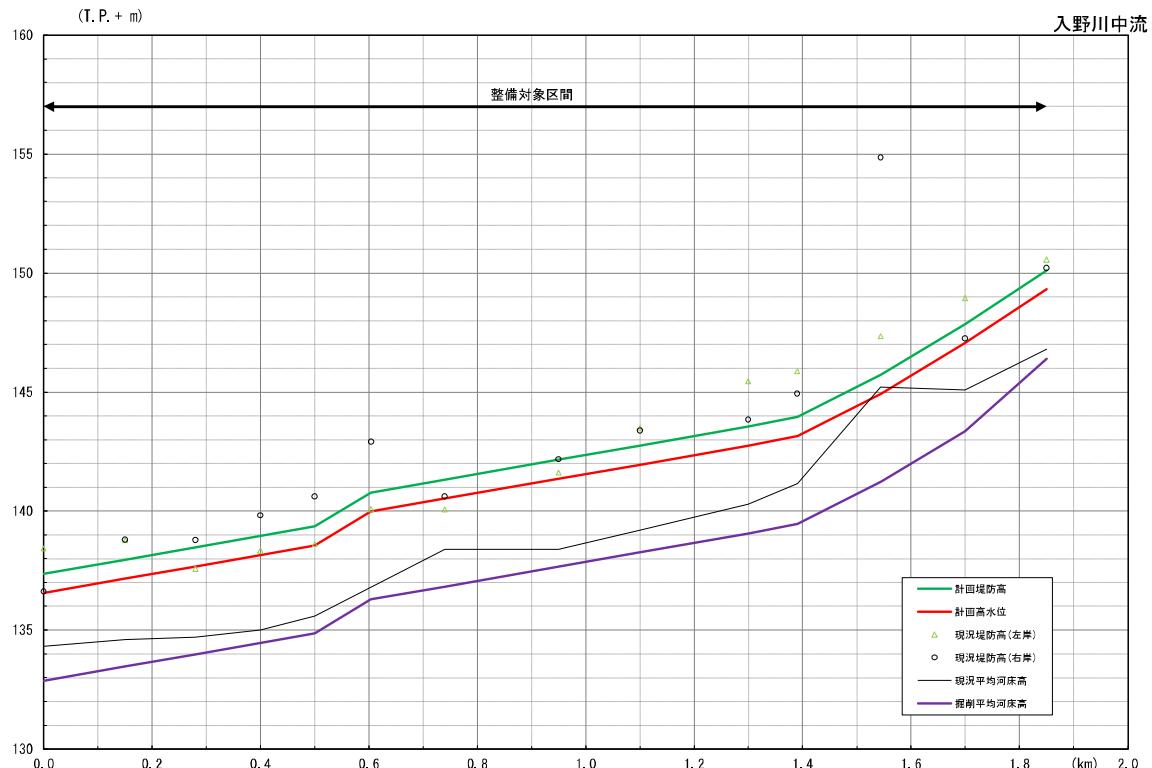


図 3.1.25 入野川中流縦断図

入野川下流 0.7k

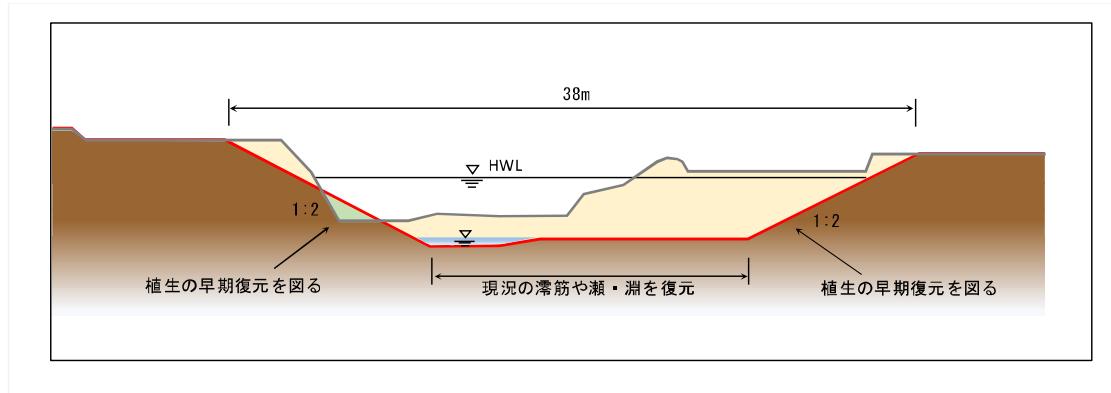


図 3.1.26 入野川下流横断図

入野川中流 4.1k

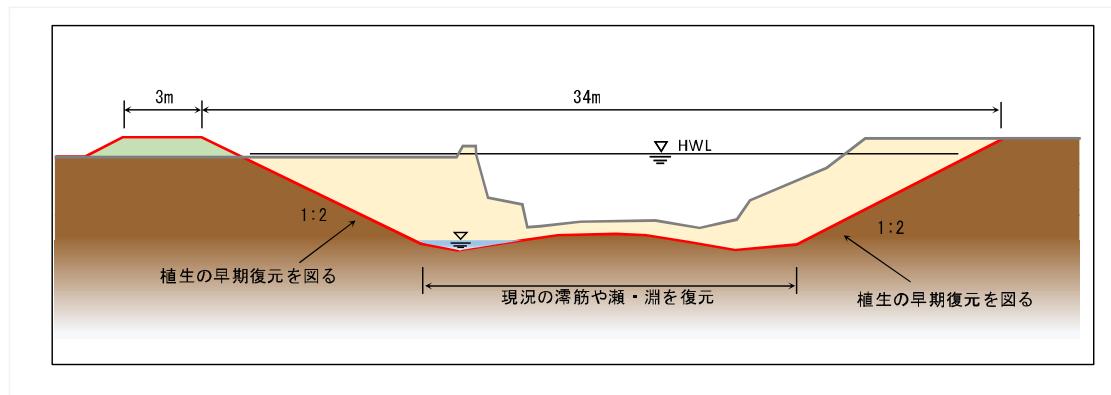


図 3.1.27 入野川中流横断図

凡 例
■ : 掘削
■ : 盛土
— : 現況の川の形
— : 整備を行う形

④ 入野川上流

入野川上流の河川改修は、平成 11 年 6 月 29 日洪水及び平成 30 年 7 月豪雨洪水相当の流量を安全に流下させることを目的に実施します。

入野川（宮領川）の河川改修については、最下流部の目標の計画高水流量 $180\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保するとともに、トンネル区間については、現在あるトンネルを改築し、目標の計画高水流量 $40\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるようトンネルの断面積を確保します。

支川杵原川の河川改修については、最下流部の目標の計画高水流量 $65\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう主に引堤及び河床掘削により河道断面積を確保します。

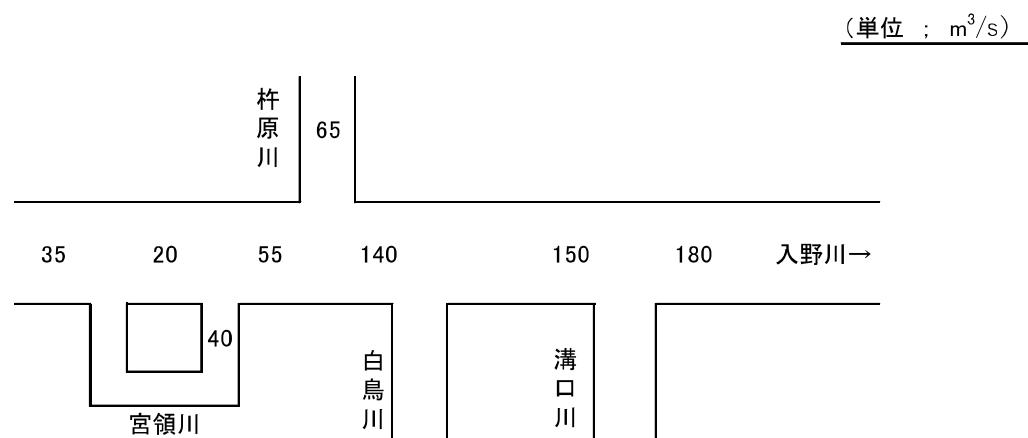


図 3.1.28 入野川上流流量配分図

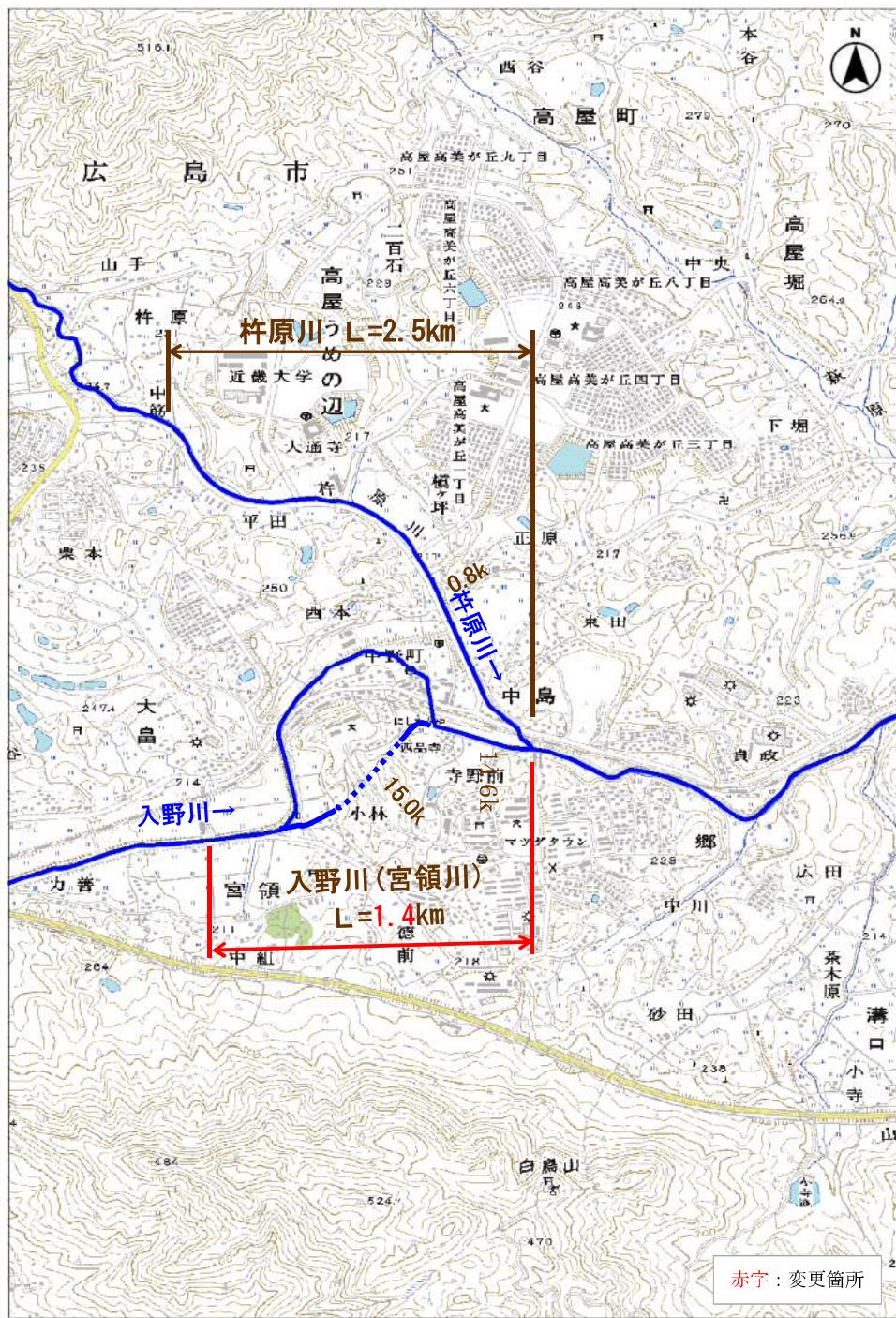


図 3.1.29 入野川上流平面図

注：背景は電子地形地図 25000（国土地理院）により作成

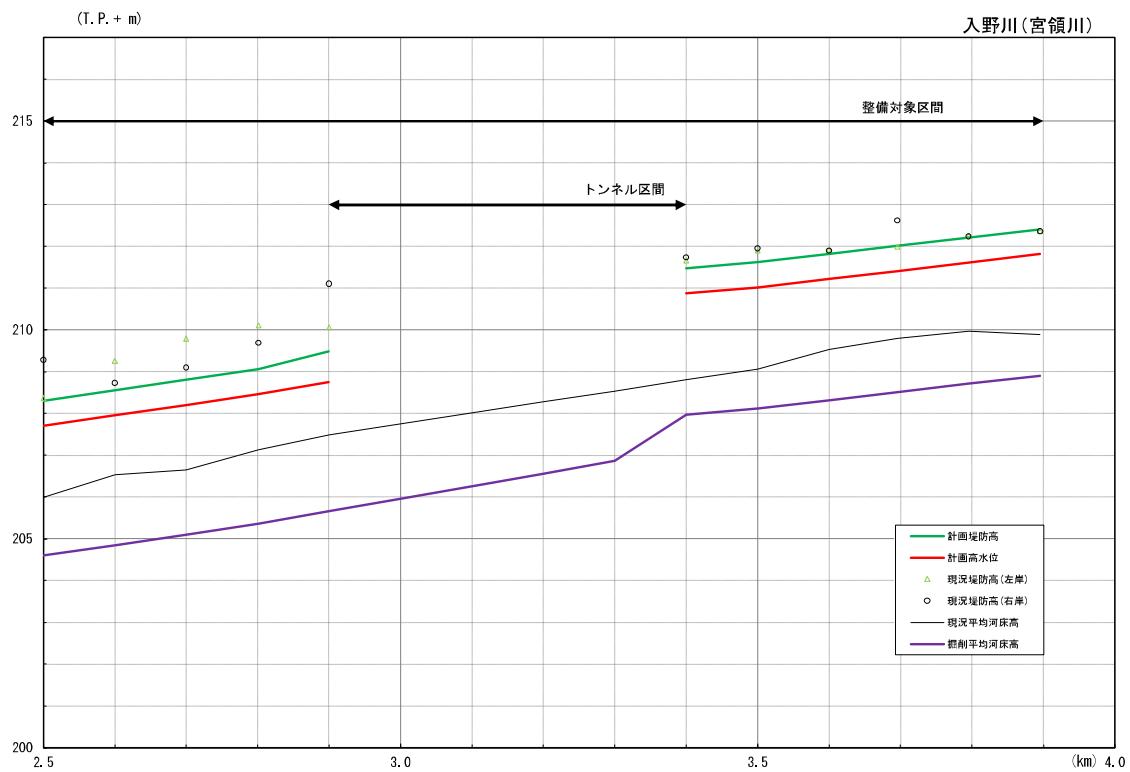


図 3.1.30 入野川(宮領川) 縦断図

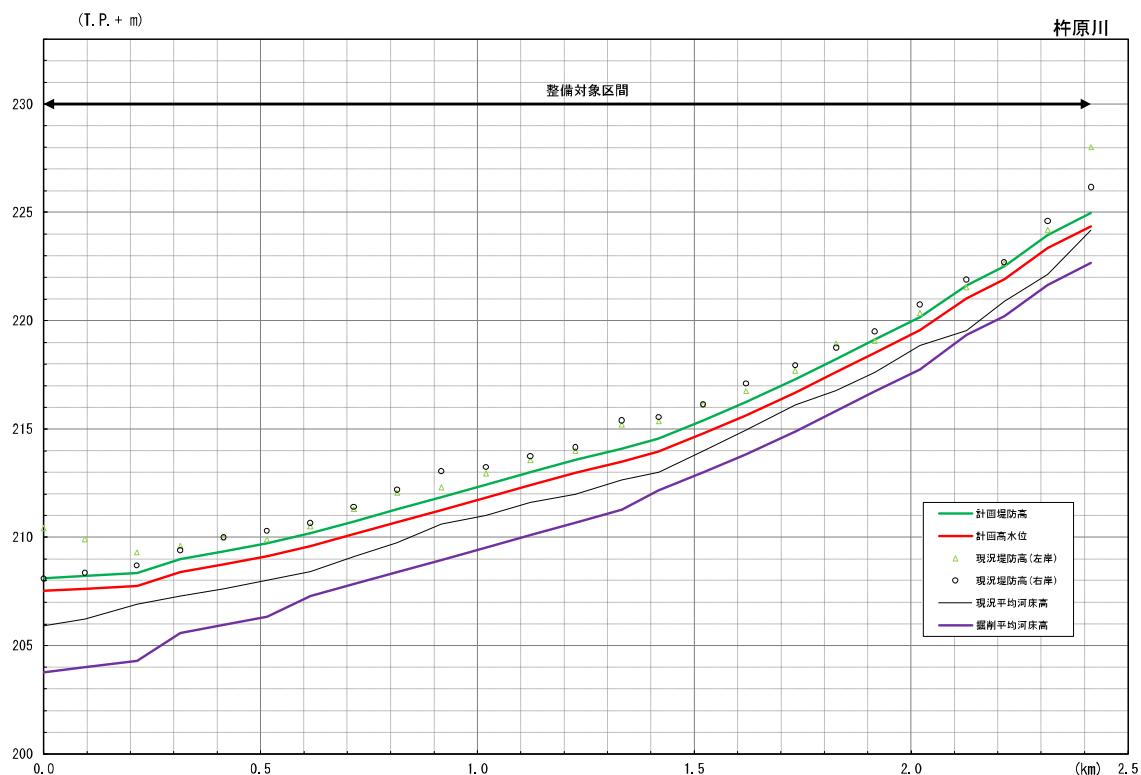


図 3.1.31 杵原川縦断図

入野川（宮領川）14.6k

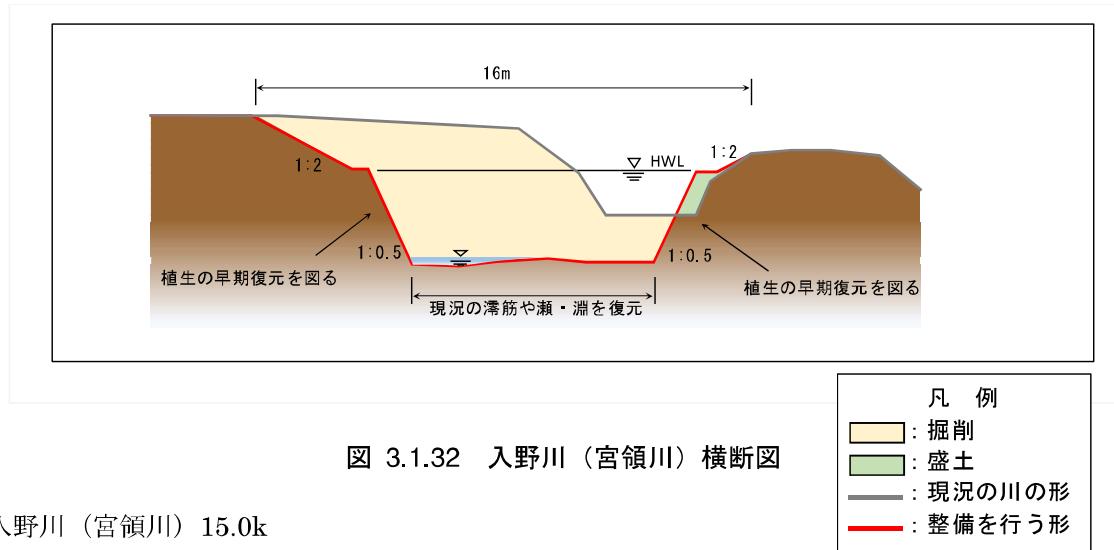


図 3.1.32 入野川（宮領川）横断図

入野川（宮領川）15.0k

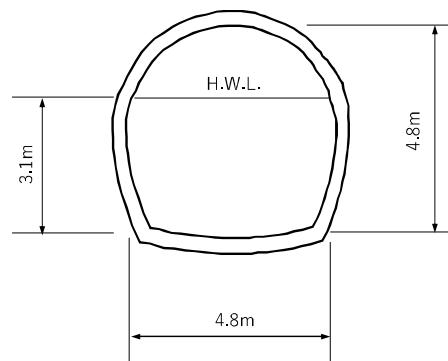


図 3.1.33 トンネル放水路横断図

杵原川 0.8k

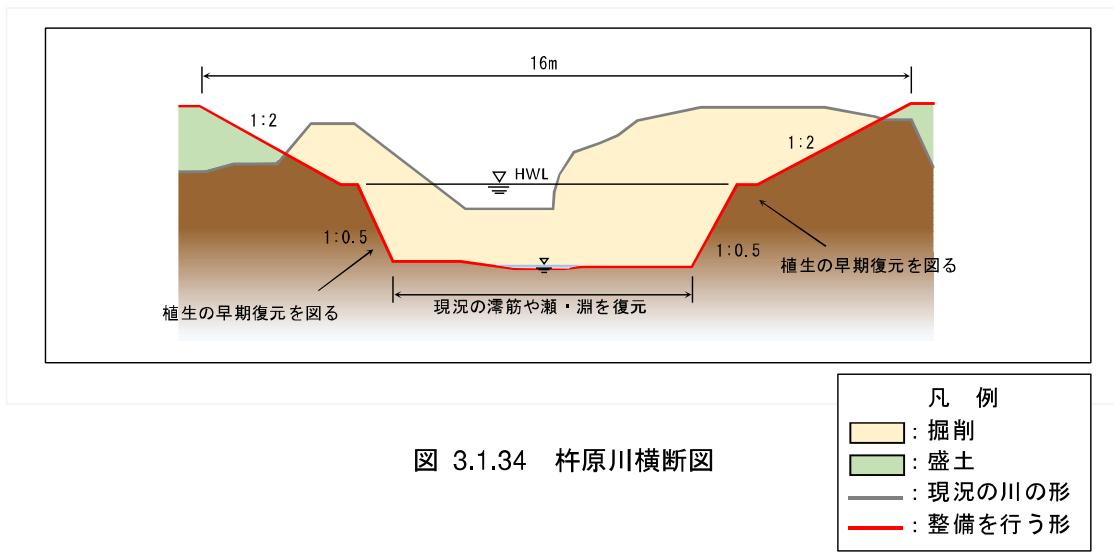


図 3.1.34 杵原川横断図

3.2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

3.2.1 河川の維持の目的

河川の維持管理は、地域の特性を踏まえつつ、洪水による被害の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持、河川環境の整備と保全がなされるよう総合的に行います。

広島県では効率的かつ効果的な維持管理（アセットマネジメント）を実施するため、「広島県河川維持管理計画(案)」を平成21年4月に策定しています。

この計画に基づき、河川巡視や出水期前・出水後など適切な時期に点検を実施し、状態把握及び評価を行い、その点検結果を蓄積するとともに必要な対策を実施することで、「河川管理施設」の機能の維持に努めます。

また、ダムについては、「ダム点検整備基準・同解説（広島県）」に定める日常管理に基づく巡視・点検、維持・修繕等の維持管理（アセットマネジメント）を行います。

表 3.2.1 ダムの諸元（椋梨ダム、福富ダム）

施設名	管理者	目的	諸元				
			形式	堤高	堤頂長	堤体積	非越流部標高
椋梨ダム	広島県	洪水調節、水道用水、工業用水の供給及び発電	重力式コンクリートダム	39.5m	213.4m	69,300m ³	EL.266.5m
福富ダム	広島県	洪水調節、既得取水の安定化、河川環境の保全及び水道用水の供給	重力式コンクリートダム	58.0m	292.0m	205,400m ³	EL.334.0m

3.2.2 河川の維持の種類及び施行の場所

広島県知事管理区間においては、以下の河川維持を行います。

(1) 流下能力の維持

「3.1.1 河川工事の施行の場所」に示した河川（区間）以外で、平成11年6月29日洪水及び平成30年7月豪雨洪水で家屋浸水被害が生じた地域について、同洪水相当の流量で再び被災することがないよう、河床掘削や築堤など必要な対策を実施します。

(2) 河道の維持

堆積した土砂や繁茂した樹木が、治水上支障となる場合は、環境面も配慮しつつ掘削、伐採等必要な対策を講じます。また、出水等による河床の低下は、護岸等構造物の基礎が露出すると災害の原因となるので早期発見に努めるとともに、河川管理上の支障となる場合は適切な処理を行います。

(3) 植生の維持

良好な河川環境の保持を図る必要のある箇所の草刈りや植木の管理は、地域住民と協力して行います。

(4) 護岸、堤防の維持

護岸、堤防については、法崩れ、亀裂、陥没等の異常について早期発見に努めるとともに、河川管理上の支障となる場合は適切な処理を行います。

(5) ダムの維持

貯水池について巡視及び堆砂測量等を行い、貯水池の状況を把握するとともに、ダム本体について変形量及び漏水等の測量を行います。また、観測設備、警報設備及び放流設備についても定期的な点検を行い、その機能の維持管理に努めます。